産業労働局長の海外出張について

1　出張者・出張先

産業労働局長　坂本　雅彦

オランダ（アムステルダム・ロッテルダム）

ドイツ（エッセン、デュッセルドルフ、ハンブルク、ベルリン）

2　出張期間

令和５年 10 月 24 日（火曜日）から令和５年 11 月１日（水曜日）まで（６泊９日）

3　出張目的

・ 将来のエネルギーの安定確保と脱炭素化を目指し、電力の需給や水素エネルギーなど先進的な取組を展開する欧州のエネルギー関連企業等と今後の脱炭素化の方向性などについて、意見交換を実施。また、都においても有意義な取組については連携に向けた協議を実施

4　経費

7,822,207 円

5　同行者数

３名

6　出張の日程

10 月 24 日（火）

〇移動日（出発日）

10 月 25 日（水）

〇アムステルダム港へのヒアリング

10 月 26 日（木）

〇JETRO アムステルダム事務所へのヒアリング

〇オランダのガス等インフラ事業者へのヒアリング

〇再生可能エネルギー事業者へのヒアリング

10 月 27 日（金）

〇ドイツのガス等インフラ事業者へのヒアリング

○エネルギー事業者へのヒアリング
○水素製造設備視察

10 月 29 日（日）
○水素列車等の視察

10 月 30 日（月）
○水素取引を推進する財団へのヒアリング
○水素・充電インフラ支援機関へのヒアリング

10 月 31 日（火）
○自動車業界団体等との意見交換
＜帰国＞
11 月 1 日（水）
○移動日（帰国日）

7　出張の成果

○港湾施設等を訪問し、港湾地区における水素関連プロジェクトの現状や、今後の展開可能性等について、意見交換を実施した。
○ジェトロアムステルダム事務所では、欧州における気候変動対策として、欧州脱炭素パッケージや水素の製造、輸送、利用について意見交換を実施し、欧州の状況を把握した。
○ガスインフラ事業者では、インフラ整備（輸入、貯蔵、輸送、エネルギーシステム等）や欧州におけるパイプライン網の現状や今後整備計画について意見交換を行い、情報やノウハウを得た。
○再生可能エネルギー事業者では、洋上風力を活用したグリーン水素事業や再エネ発電とダイナミックプライシングについて意見交換を行い、情報を得た。
○エネルギー事業者では、脱炭素化に向けた水素発電の取組について意見交換を行い、情報を得た。
○水素製造設備では産業プロセスで生じるＣＯ２を活用した大規模な水素の製造プロセスを確認するとともに、水素列車の視察では、世界で初となる水素が鉄道で活用されている状況について、確認することができた。
○水素取引を推進する財団では、ドイツ政府の支援スキームや水素取引の動向について情報を得て、今後も継続して意見交換を実施するとともに、水素普及に向けた先進的取組であることから、連携に向けた協議を行うこととした。
○水素・充電インフラ支援機関では、ドイツにおける水素ステーションや充電インフラ整備

に関する計画や取組について、都の取組と比較しながら意見交換を行った。

○自動車業界団体では、ドイツにおける e モビリティの現状や CO2 に関する法規制や自動車、トラック、水素などの状況を把握した

○自動車業界の動向や国の支援策について、関連企業等を訪問し、欧州における脱炭素化を取り巻く現状や、今後の展開可能性等について、意見交換を行い、エネルギーの脱炭素化に関する情報やノウハウを得た。

【お問い合わせ先】
産業労働局産業・エネルギー政策部計画課
電話　０３－５３２０－４８６３